

Entrée Gratuite

Salon de Classique Nire

サロン・ド・クラシック榎 第14回定期演奏会 ～ 国民楽派 ～

フィビヒ
シューベルト

黄昏の古都
ピアノソナタ第14番 D784 より 第1楽章
大屋 隆樹

シベリウス
スメタナ

ロマンス 作品24-9
チェコ民謡による幻想曲

川久保 和道

スーク
スメタナ

愛の歌
マクベスと魔女

(招待演奏) 村上 和歌子

フィビヒ
ムソルグスキー

ジョフィーン島の夕べ
交響的間奏曲

川村 憲一

ヤナーチェク

草かげの小径にて より
われらの夕べ
散りゆく木の葉
彼女らは燕のように喋りたてた
ふくろうは飛び去らなかった

有田 賢

パデレフスキ
ショパン

幻想的クラコヴィアク
ポロネーズ第5番 作品44
ノクターン第20番 遺作 レント・コン・グラン・エスプレッジオーネ
からたちの花

山田耕筰

畑中 一映

2026.2.21. (土) 14:30 開場 15:00 開演

渡辺淳一文学館 入場無料

Concert de Musique Classique

ご挨拶

2010年に「北大第三内科室内楽同好会」として立ち上げた当会も、他科の医師、関係者にも参加していただき、名称を「サロン・ド・クラシック榆」と改め、このたび第14回を迎えることができました。これまで支えてくださった皆さまに、心より感謝申し上げます。今回のテーマは「国民楽派」です。国民楽派とは、19世紀後半に各地で生まれた音楽運動で、自国の民謡や舞曲、歴史・風土を取り入れ、その国ならではの響きや情景を音楽に表現しようとした作曲家たちの流れを指します。スメタナ、ドヴォルザーク、グリーグ、シベリウスなど、多彩な作曲家がこの潮流の中で活躍し、それぞれの民族色豊かな作品を生み出しました。本日お越しくださいました皆さまに、こうした国民楽派の魅力とともに、心豊かなひとときをお楽しみいただければ、演奏者一同これ以上の喜びはございません。

サロン・ド・クラシック榆 代表 川村憲一

